

2024
秋号



発行 城里町社会福祉協議会 ☎ 029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <https://www.shirosato-syakyo.com>
編集 広報ボランティアグループ



赤い羽根共同募金

人と人とのつながりが少なくなっていくなか、赤い羽根共同募金でお預かりした募金は、城里町の子供達・高齢者・障がい者を支え、孤立させない活動に役立てられています。又、大規模な災害が起きた際の被災地支援にも使われています。皆様のご協力をお願いいたします。



募金は、学校の福祉教育にも使われています。

主な内容	城里町敬老会・金婚式典…………… 2P	しろさとスマイルタクシーほろるとのつてく…………… 4. 5P
	子どもヘルパー小さな敬老会…………… 3P	与三郎庵チャリティバザー…………… 7P

城里町 敬老会・金婚式典

祝

金婚式を迎えられた皆様

おめでとうございます！



笹本哲三・まさ子 夫妻 (石塚)

遠くに感じた金婚式でしたが、皆様のお陰で二人して元気に迎えることができました。これからも健康な爺、婆でありたいと思います。

9月16日(月) コミュニティセンター城里ホールにおいて、城里町敬老会、金婚式典が開催されました。藤田副町長の開式のことばで始まり、主催者である上遠野町長から敬老者に、今までのねぎらいの言葉と、末永くお元気での挨拶がありました。続いて金婚者記念品贈呈に移り、4組の金婚者の代表として笹本哲三・まさ子ご夫妻に記念品と花束が贈られました。その後、来賓祝辞、来賓紹介、知事メッセージ代読、祝電披露と続き、添田教育長の言葉で式典は終了しました。式典の後、アトラクションに移り、今年は県立大洗高校のマーチングバンド「ブルーホーク」の出演でした。評判通りの非常に素晴らしい演奏でした。幕が上がるとステージ一杯に広がった高校生達、ブルーの上

披露してくれました。それはとても美しいハーモニーで、聴いている人の心にスーッと入ってきました。 「自然と涙が出てきちゃったよ」と話しながら話している方もいました。皆さん満足されていたようです。

着と真っ白なスラックスに身を包み、きちんと整列していました。そして演奏が始まり、その迫力のすごさにビックリ。行進しながら交差を繰り返して、正確に心に響く演奏を私達に届けてくれました。 何よりも驚いたのは、出演者全員による混声4部合唱の演目でした。「ふるさと」に始まり、数曲を



楽器演奏とフラッグの舞



すばらしい混声合唱

(金婚者の写真掲載は希望者のみです)

子どもヘルパー

小さな敬老会～阿波山サロン～



9月28日(土)、子どもヘルパー4名と阿波山サロンの方々10名が参加し、小さな敬老会が行われました。

最初に参加者全員で、椅子でのシルバーリハビリ体操を行いました。指導士さんは、運動の効果を分かり易く説明してくれました。



みんなでシルバーリハビリ体操



玉入れに奮闘中

次に玉入れを行いました。的になる箱は、3種類あり、それぞれ「笑顔ボックス」「長生きボックス」「元気ボックス」です。紅組と白組に分かれて入った玉の数を競います。座ったまま玉を投げるのでとても難しく、入った時は皆さんの顔に笑顔があふれました。



真剣に記入しています

玉入れの後は、「遠足の思い出」「今行ってみたいところ」など、柿を形どったメモに記入しました。皆さんが記入したメモで柿の木が出来上がりました。



柿のメモで作った柿の木

最後に全員で記念撮影をしました。子どもヘルパーと阿波山サロンの方々、いずれも笑顔で楽しく過ごせた一日でした。



笑顔での撮影



市町村の目

「城里町の目」

8月10日8(土)、水戸ホーリーホック対ベガルタ仙台戦が行われました。この日は、水戸ホーリーホック・ホームタウン推進協議会が「城里町の日」と定め、城里町在住、在学、在勤の方は観戦チケットを優待価格で購入できました。

また、城里町産のブルーベリーを使ったアイスパンやシェイク、城里町ブレンドのコーヒード豆を使ったカフェオレ、古内和紅茶を使ったアイステイなどの販売がありました。

ステージイベントとして、「地域活動支援センターつくし」

に、よさこい演舞の依頼があり、元気いっぱいよさこいを披露してきました。



みんなで記念撮影

しろさと(61) 緑の広場よねごわ公園

役場から南東方向約1キロの所に、米沢不動尊の社があり、昭和55年に屋根替えがなされています。社を左に見て、よく整備された階段を下りていくと目の前に広場が飛び込んできます。右側には小さな池があり、明治初期に造られたと中央にある石碑に刻まれています。池の近くには東屋風の休みどころがあり、その他にも池を眺められる高台にいくつかのベンチが置いてあります。



静寂に包まれた池のほとり

広場の横は深い崖になっており、そこに新道川が流れています。水の音だけが響き渡り、よく整備された広場に静けさが伝わってきます。池のほとりに植えられた百日紅の紅い花がともきれいでした。

しろさとスマイルタクシー のってく

令和6年10月1日から開始された事業です。
利用するには事前登録・事前予約が必要になります。

サービスが利用できる方

- ・町内に住所を有する75歳以上の運転免許がない方
- ・町内に住所を有する75歳以上の運転免許返納者
(同乗者に関してはご相談ください。)

送迎できる医療機関

水戸市：水戸赤十字病院 水戸済生会総合病院
水戸協同病院 誠潤会水戸病院

笠間市：茨城県立中央病院

茨城町：水戸医療センター

常陸大宮市：常陸大宮済生会病院 志村大宮病院

※上記の医療機関への送迎のみの運行になります。



ご利用できる日時

- ・月曜から金曜日の午前9時から午後5時まで
(土日、祝日、12月28日～1月3日は除く)

予約方法

- ・利用日の1か月前から1週間前までに、電話にてお申込みください。

ご利用料金について

- ・利用料金：1kmにつき100円
- ・自宅から病院までの距離、病院から自宅までの距離

※車両に限りがあるため、ご希望があっても乗車できない場合があります。

しろさとスマイルタクシー ほろるん

福祉有償移送サービスの新愛称です。

利用するには事前登録・事前予約が必要になります。

サービスが利用できる方

- ・介護保険区分要支援、要介護認定者または障害手帳をお持ちの方
(同乗者が必要な場合があります)



送迎できる地域

- ・通院や外出時の送迎を目的とし、近隣市町村までの送迎（要相談）

ご利用できる日時

- ・月曜から金曜日の午前9時から午後5時まで
(土日、祝日、8月13日～16日、12月28日～1月3日は除く)

予約方法

- ・利用日の1か月前から1週間前までに、電話にてお申込みください。

ご利用料金について

- ・最低料金は町内400円・町外800円（利用券）となります。利用時間が町内30分以上、町外60分以上経過すると30分ごとに400円が加算されます。
- ・ガソリン代として1キロ10円（現金）をご負担いただきます。

※車両に限りがあるため、ご希望があっても乗車できない場合があります。



お問合せ先 城里町社会福祉協議会

電話 029-288-7013

つくりたい

両立の秘訣は家族の理解

那珂西 櫻井 美咲さん



櫻井 美咲さん

城水戸支部の立ち上げから参加し、支援活動に取り組みました。

「お互い様という気持ちで楽しんでやっています。大変だと思ったことはありません」親しみやすい笑顔でボランティアの話をしてくれた櫻井さん。

櫻井さんはご主人と2人のお子さんの4人家族。下のお子さんが小学校に上がったのを機に、専業主婦だったので社会に復帰したい、社会との関わりを持ちたいという思いから、ボランティア活動に興味を持ちました。新聞に「フードバンクセミナー開催」の記事を読んだ時に、これだと思い参加しました。平成29年、NPO法人フードバンク茨

います。城里町には櫻井さんの他にあと2人支援員がいます。とてもやりがいがあります。とてもやりがいがない、信頼関係を築くのはとても難しいそうです。困り事や心配事が良い方向にいった時が、一番うれしいとのこと。

皆さんは、未開封で賞味期限が2ヶ月以上ある食品を一般の方が気軽に寄付できるように、社協窓口と役場1Fに設置してあるきずなBOXをご存じですか。櫻井さんはこれを水戸支部に持って行き、必要としている方に配っています。

活動を通じ、人に支援することにやりがいを感じた櫻井さんは、もつと人の手助けがしたいと思い、令和元年に3ヶ月の研修を受け、日常生活自立支援事業の支援員を始めました。支援員は、知的障がい者、精神障がい者、認知症高齢者等のうち、判断力が不十分な方を地域において自立した生活が出来るように、契約に基づき、福祉サービスの利用に対し援助等をして

また櫻井さんは、コロナ前より勉強会に参加し、令和5年に立ち上げた*「このゆびとまれ」でも活躍しています。これはひきこもり状態にある方に、自宅以外で安心して過ごすための居場所を提供し、一緒に活動するボランティアです。

ご自身でも仕事を持っていらっしゃる櫻井さんは、休み等を利用して、これらのボランティア活動をしています。「家族の理解があつてこそ、活動できます」との事です。最後に、「フードバンクへご協力ください」と「楽しんで活動してくれる仲間が欲しいです。シニアの方大歓迎です」と話をしてくださいました。 *かざぐるま79号参照

つくしの四季

皆さん、こんにちは。地域活動支援センターつくしです。暑さも和らぎ、過ごしやすい季節となってきました。つくしに通所している仲間たちは、今日も元気に作業をしたり、ウォーキングをしたりと、充実した毎日を送っています。



細かい作業に没頭中

今回は、クラゲの製作活動の様子をご紹介します。10月末まで、出来上がった作品は常北保健福祉センター12Fに飾ってあります。

まずは、クラゲの頭の中に入れるビーズをピンセット等で色分けをしました。同色系で分けたり、透明感のあるビーズで分けたり。細かい作業だったので、皆、真剣な表情で取り組んでいました。仕分けが終わったら、次はカプセルの中に、好きな

ビーズを好きなだけ入れました。色選びやビーズの量など、光が当たった時を想像しながら選びました。

ビーズを入れた後は、クラゲの腕となる、すずらんテープを選び、貼り付けました。クラゲの腕の長さや太さに仲間たちのこだわりを感じられます。皆で楽しみながら製作活動を行い、個性豊かで、可愛らしいたくさんのクラゲが完成しました。

一言に作業と言っても、内容はさまざまで、仲間一人ひとりの特性に合わせて作業内容を変えたり、作業工程を分担したり、全員で参加することが出来るよう、工夫をしています。今後も、皆で協力して素敵な作品作りをしていけたらと考えています。



涼しげなクラゲ

手話を学ぶ ④7

「ごころな」 観光地の表し方

秋の気配が感じられる様になり、今年の猛暑の日々を忘れるように風の涼しさ、木々の紅葉など身に優しさを覚えるようになりました。

【東京タワー】(東京) + (タワー) (東京) 両手の親指と人差し指を伸ばして並べ2回上げる



(タワー) 両手の人差し指と中指を伸ばし、斜めに上げて指先を合わせる。



【別府】 右手の人差し指と中指・薬指を立てて左手の親指と4本の指ではさむ。



☁ 温泉マークを表します

【ドーム】 両手の手のひらを下向きにして指先を合わせる。



弧を描くように左右に開く。



【日光】(日) + (太陽) (日) 左の人差し指を立てて右の人差し指、中指、薬指をつける。



【太陽】 右手の指をすぼめて、頭の上におき、少し下げながら指をパツと開く。



【富士山】 両手の人差し指と中指を伸ばして、斜めに広げながら下す。



【武道館】 (武士) 左手の拳に右手の拳をあて右手を上げる。



【建物】 両手の手のひらに向かい合わせ、上げてから真ん中に寄せる。



【湯布院】 両手の手のひらを手前に向け両胸のあたりにあてる。



両手を肩まで引き上げる。



与三郎庵 チャリティ&バザー

10月1日(火)、与三郎庵において、チャリティ&バザーが行われました。今年で23回目を迎え、盛大に開催され、けんちゃんそばはワンコインの500円で提供されていました。

お店の外では、揚げたての野菜やまいたけのてんぷらが販売され、しんこ餅ややぎの乳製品等のお店が並びました。さらに、小松重盛太鼓の演奏は、会場を盛り上げました。

つくし作業所では、小物の他、つくし作業所の畑で収穫した生姜やさつまいもの販売をしました。



小松重盛太鼓の演奏

街で出会った ちょっといい話 ③

リフトカーでお祭り見物へ
友人が介護施設に入居している母と実家がある石岡のお祭り見物に行った話をしてくれました。

社協でリフトカーを借り、石岡の実家に着き叔父夫婦に会うと、施設では表情が無かった母が笑顔を見せ、幼馴染みに会った時には泣きながら手を握り合い喜んでいました。

お祭りの会場へ車イスで行くと、警備の方が最前列へ誘導してくれましたので、お神輿や獅子舞が目の前で見れて興奮していたそうです。

外出したことで、感情が出て笑顔が戻ったのが嬉しかった。春になったら母の好きな桜を見に行くと友人は言っていました。



照沼 光男 さん 83歳
トミノさん 81歳 阿波山

阿波山地区に住む照沼光男さん、トミノさんご夫妻を訪ねました。

光男さんは40年間会社勤務をし、定年退職後の平成17年、シルバー人材センターに登録し、現在は理事として活躍されています。地元の方から頼まれた草刈り作業など、メンバーと共に行っています。更に光男さんは、昭和48



年から現在まで、「詩吟」の稽古を行い、「宗範」の資格を得ました。50代の時

わが町のゆめやかみさん

64

川原 勝男さん 89歳
モトさん 83歳 上赤沢



七会の上赤沢地区に住む川原勝男さん、モトさんの

元気なご夫婦取材しました。お二人のなれ初めを聞いたところ、勝男さんはお婿さんでお見合い結婚だそうです。

モトさんのお父さんが専売公社に勤めていたので、勝男さんは、お母さんと一緒に1町歩の田んぼと7反歩の畑を守ってきました。畑では5年前まで七会の美味しいお茶を栽培してきました。現在の畑作業はトラクターによる除草がメインです。

には、ご夫婦で茨城県大会に出場し、光男さんの詩吟と共にトミノさんが舞を披露し優勝、更に光男さんは、茨城県代表として、日本武道館で開催された全国大会に出場しました。

トミノさんは娘さんと共に美容室を営業しています。トミノさんが「主人は娘には甘いよ・・・」と話された時、話を遮るように、突然、光男さんは詩吟を始めました。これからもお二人仲良くお過ごしください。

また、30年前、鶏足山のハイキングコースを作るために6人の仲間と整備したと楽しみに話していました。モトさんは、シルバリーハビリ体操の指導や、更生保護女性会に所属し、地域の皆さんのために活動してきました。お子様は2人でお孫さんは5人、全員が成人しているそうです。物置には勝男さんが面倒を見ていた白菜の苗が立派に育っていました。美味しい白菜になりそうです。

歳末見舞金の申請が開始されました

年末に歳末たすけあい見舞金を給付いたします。対象の方は、世帯全員が町民税非課税、令和6年10月1日現在、町内に1年以上住民票を有し、居住している世帯であり、かつ次に該当する方になります。

1. 対象者

- ① 満67歳以上のひとり暮らしの高齢者世帯
- ② 介護保険区分が要介護4又は5の方がいる、在宅介護を受けている世帯
- ③ 重度心身障害者(児)世帯
- ④ 母子・父子世帯
- ⑤ 準要保護世帯

2. 申請書配付場所及び申請する場所

※但し、施設に入所・入居している方及び生活保護世帯は対象外となります。

城里町社会福祉協議会
 (石塚1428-1)または七会保健福祉センター
 (小勝1400)

3. 申し込み受付期間

令和6年10月15日(火)～令和6年11月15日(金)
 ○歳末たすけあい見舞金は、歳末たすけあい募金を財源としています。

目次

- 募金の輪でつながりを 赤い羽根共同募金..... 1
- 城里町敬老会・金婚式典..... 2
- 子どもヘルパー小さな敬老会..... 3
- 城里町の日.....
- しるさと①「緑の広場よねざわ公園」.....
- しるさと②スマイルタクシー..... 4・5
- ほろるとのつづく.....
- きらつと生きる..... 6
- つくしの四季②..... 7
- 手話を学ぶ④..... 7
- 与三郎庵チャリティバザー.....
- ちよつといい話③..... 8
- わが町のさわやか元気さん④..... 8
- 歳末見舞金.....
- 目次・編集後記.....

編集後記

厳しかった残暑もようやく平常に戻りつつあります。朝晩吹く風の冷たさや、キンモクセイの香りが秋を感じさせてくれるようになりました。落ち葉がさらさらと風に舞う音や、犬の鳴き声がなぜか物寂しく聞こえてきます。

そんな短い秋だから、今までの暑さ、忙しさを忘れ、ちよつと立ち止まり振り返ってみませんか？